

概要

ダンジョンを攻略し、Hut を使用し、次の Area に移動した。

移動した先はゴラリオンとは別の星トライアサクスだった。

Drake Land と Skyfire マンデートが対立しており、ルート分岐の結果、PC 達は Skyfire 側につくことになった。

ログポイント

Kir 0.4

Nass 0.2

Hel 0.4

Arl 0.4

Dia 0.2

Spu 0.5

ルール解釈

- ・仲間に正しい座標を伝えるのは MoveAction
- ・社畜 Ring (Ring of Sustainance) を付けていると浮いた 4 時間はアイテム作成してよいけど、必要な Slot は朝のうちに消費しておく。作業場所としても時間半分 (すなわち 2 時間)

詳細

■ハグデーモンの神殿

PC 達は残ったリソースを見ながらボス部屋だと示唆されている部屋に突入するべきか悩む。しかし、ゲーム時間で、今日はまだ数分しか労働していないことに気が付き、仕方なく労働に従事することにした。

神殿に突入すると、三人のバグが輪になって踊っていた。一人はカイグレアルであった。

彼女は言った。

「もし、ジャドレンカを倒すならば、許してやろう」

PC 達は、この機会にジャドレンカの情報を得ようとし、話を続ける。「OK, どうすればジャドレンカと会えるんだ？」

対話の時代は続いた。「やつはアーティファクトを持っており、突然あらわれる……確かに難しいな。ならば、外から人間のいけにえをつれてこい。ハグの儀式をはじめ。わが神メスカナ様に忠誠を誓う儀式を行う」

そこでヘルベチカが怒りだし、対話の時代は終わった。

ここは神殿なので、ハグが 3 人で儀式を行うことで、強力な魔法を発動させることができる。そしていきなり、Wave of Exhaustion が放たれた。

通常、3 人で協力して打つはずだが、彼女らは一人でかつ通常の魔法をうつタイミングで使用するができる。

PC 達が恐怖に戦くなか、突如、ジャドレンカが現れた。

「カイグレアルよ、あなたはこのダンジョンのガーディアンを解かれているはず。フロストジャイアントをつれてきてなにをやっているんだ。」と叫び、キリシッカに Heal して助けくれた。カイグレアルは叫び返した。「あなたは私の娘のクセに、私と敵対するなんて」

敵は、Fire 弱体化を与えた後 Firestom を与え、高いダメージを与える予定であったが、皆フレンドリーファイヤー対策のためにファイヤー対策をしていたので、戦闘予定が火を噴くことはなく、命の火が途絶えることも無かった。

■ジャドレンカとの会話

ようやくちゃんとジャドレンカと会話することができた。

曰く、

- ・ジャドレンカはチェンジリングだった
 - ・リングでこのダンジョン内部の色々あらわれている。
 - ・アレ＝カイグレアルでも私の母なので手助けしたけど、他は試練なので、手助けするわけにはいかずすみません。
 - ・恋人については OK。
 - ・バーバヤーガー様についての情報は特に無い
 - ・言うこと聞かないガーディアンは閉めておく
- というわけで、Key（ゴールドナゲット）をもらった。

というわけで、このダンジョンを攻略し、外に出ることができた。
彼らはこの日 10 分も労働していなかった。

■ケンタウロスの町

ダンジョンを出て、
近くの大きなケンタウロスの町へ行き買い物を済ませた。

ワンドをパーティ資金から購入する稟議が降りたので、ワンドを大量に買い込んだ。
また、町でのお買い物は「外出」扱いなので、規定の時間労働した扱いとなった。

■エルシャダとの別れと次の世界

ケンタウロスの村に戻り、族長さんに挨拶をした。ハットに異常は無い様だ。
エルシャダとも別れることとなった。彼女はこれまでの NPC で一番強い NPC だった。彼女は「今度是一人で旅しようかなあ」と、海外旅行の楽しさに気がついたようだった。

ハットに戻り、一晩休み、儀式を行った。

■ハット

儀式を行った後、窓から外を見ると庭が見えた。今回は Dungeon ではなく Open Field だ。のどかな風景で、小道があり、その先にはハーブガーデンがある。
空間はさらに外に無限に続いているように見えるが、先に進もうとすると、「どうんどろん」という音が鳴り響き、見えない壁があることが分かった。

■木の Monster

道なりに進むと、木の Monster がクレイジーな状態で暴れていたが、Calm Emotion でおとなしくさせる。対話の時代がはじまった。

結論として、お互いの立場は理解することができ、和解することができた。

彼は（この仮想世界ではなく）リアル太陽の光が欲しい。が、現状何もできないので、ダンジョンを攻略してまた相談することが決まった。

■食人植物 Moon Flower

左右のジャングルから巨大な食人植物が襲ってきたが、がんばって倒す。

倒した後、中から Breastplate +1Heavy Flail +1Handy Haversack が出てきた。過去の被害者はクレリックのようだ。

■大きな家

道を進むと、大きな家があったので仕方なく入る。

入ると3人の人々がいた。「せっかく Plane Shift で良い場所を見つけたと思ったのに」「どこかの PocketPlane だと思ったんだけど……」と言って襲い掛かってきた。

彼等らは「Moon Beast」「レンにすむ者」という Dream Land に住んでいるクトゥルフ系の生き物だった。I'm Providence (RI)。Dex の Drain 攻撃をうけるが、がんばって倒す。

彼等らはルビーを持っており、何者かが封印されていた。

Augury で吉と出たので、ルビーを壊し封印をといた。

■商人

封印をとくと出てきたのはジルバザラートと名乗る商人だった。とりあえず手持ちのもので、商取引をすることが出来た。さらに、彼からフィギュリンをもらい、所謂 Amazn システムでもものの売り買いが出来ることとなった。

このフィギュリン（オブシディアンレイブン）により、Sending、Plane Shift、どこにでもメッセージ送れることとなり、このプレーン（Hut の中）に届けてくれることが取り交わされた。なお、標準納期は1シナリオで、詳細が分からないのに、いきなり納期を示すのはデスマの雰囲気があるなあ、と思いました。

ジルバザラートは、甲子園の土のように、PlaneShift 用のマテコンを集め去っていった。

■部屋の探索

部屋を探索すると、暖炉のつけ方がおかしいことが分かり、暖炉の煙突をキリシッカが上ると、隠し部屋があった。

その隠し部屋に入ると、Shadow 幻影のカラスが3匹どこからとも無く飛んできた。

そして、部屋に「バーバヤーガは、唯一の息子と会うために立ち去った。されど、痕跡は残っている……もし、見つけることができるのなら」と叫び、(Baba Yaga has gone on, off to see her only son. But a trail she left behind, if the breadcrumbs you can find!)、さまざまなものを PC 達の前に落とした。具体的には棚から双頭の鷲の惑星を取り出し、鉄の蹄 (Iron Spur) と角の杯 (Drinking Horn) のそばに置いた。そして、象の牙 (elephant tusk) と、小さな手鏡 (Small Hand Mirror) を取り出し、熊の敷物 (Bearskin rug) の上に落とした。

そしてカラスは消えていった。

その部屋を調べると、暖炉があり、クレーのボウルと、めんどりの卵があり、コントロールルームだということが分かった。反対側には Door があり、外を見ると白かった。

■残りの Hut の探索

ひとまず、Hut の残りの部分を探索した。

切り株の上に猫が乗っていたにゃん。

この猫は、前女王クリーンエリザベータの使い魔だった猫だと言ったにゃん。

前女王はバーバヤガに連れ去られたにゃん。

そう、僕はハイレベル使い魔だから意識あるけど、

この切り株は Wolf-in-sheep's-clothing というモンスターで、上にのっているクリーチャーをルアーとして次のえさを呼び寄せるにゃん。

残念だけど、もう持たないにゃん。

仕方ないので、戦闘を開始した。キリシッカの Knock Out が成功し、倒すことができた。PC 達は成仏を祈ったにゃん。

■部屋の外

外に出るとそこは一面の雪景色だった。

太陽を見ると、大きさが少し小さい。ここはどこだろう、と PC が悩んでいると、

Dragon Kin にのった Rider(Bescaylie) がやってくる。

Bescaylie と対話の時代をはじめますが、いまいち要領を得ない。痺れをきらした Bescaylie が言った。「貴様らは Drake Land のものか？」もちろん、PC 達は良く分からなかった。

Bescaylie が説明するに、ここはスカイファイヤーマンデート砦の近くのようなのだ。さまざまな情報を総合するに、

- ・ Skyfire マンデートは DrakeLand から独立した
- ・ DrakeLand から防ぐ役割をしている Spur horn 砦がある。カラスのメッセージはたぶんこの砦を示している。
- ・ われわれと一緒に来ないか？

リクルートの誘いに悩んでいると、鎧をきた Ventari 将軍がやってきた。

将軍は言った。「弱いものを力で押さえつけてなにが悪い。探し物ならば Malesinder 将軍ができるぞ。そして強いならこの国で歓迎されるぞ。我々と一緒にこないか」

ルート分岐が発生したが、結局みんなマンデートにつく。

将軍は「Drake Land に敵対するのをおろかなり」と叫び襲ってきたが、Helvetica はそれに応えた「どの時代、どの Plane でも我々 Order of Shield は弱きものの前に立つ」。

Bescaylie は「我々に協力してくれてありがとう。砦にきてくれないか？」

というわけで、小屋ごと移動しようとするが、UMD のミス率の関係でうまくいかない。

そもそも敵がきたら家が勝手に撃退するという機能があるので、まあ仕方が無いと判断して、家

を放置して砦に向かった。

■ Triaxus

道中に現在の状況を教えてくれる。

我々の司令官は Commander Pharamol で、双頭のワシを飼っている。Elephant tusk はきっとアイボリーを示しており、敵対している、Drake Land の首都に Ivory Glass という土地があり、Dragon Load IraksYrax がいる。

砦につくと、ウィザードからゴラリオンからきたの？といわれる。

ここは別の惑星だという衝撃の事実が伝えられる。

- ・この星は Triaxus だ。
- ・空気は Breathable なのでジェットエンジンが使用できる。
- ・Gravity は *1 なので、RangedAttack は通常通りできる。
- ・公転軌道が楕円なので、夏と冬の温暖差が激しく、今は秋から冬にかけて真冬だ。季節により、Dragon の強さが変わり、これから White Dragon が強くなるぞ。あと確か Monster が巨大化するぞ。

また、この砦は侵入対策として、PlaneShift、テレポすると地下牢に飛ばされるという Trap がある。

Drake Land からの侵入者が良く現れるので、突然現れたらリンチして倒す。

PC 達は緊急回避のために使用することを考え、砦の担当者に顔をつなぐことを依頼した。